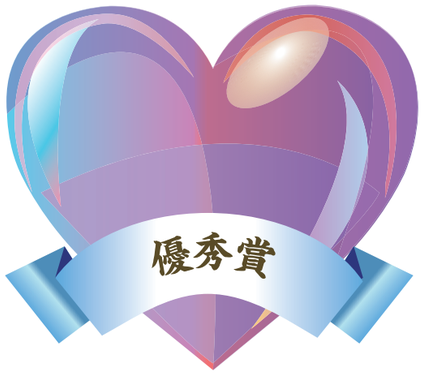


鳥取県　株式会社 三栄
「島根県西部豪雨災害支援」事業

株式会社 三栄
代表取締役社長
徳田照夫さん

地域社会から求められる企業を目指す社会貢献活動

集中豪雨被害の復旧・復興に尽力する

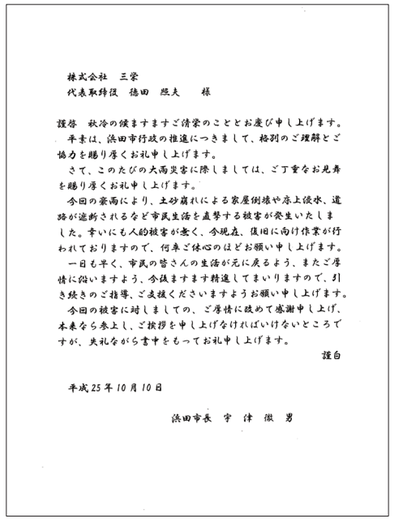
地球温暖化が原因ともいわれている激しい集中豪雨の多発。その規模は、これまでの経験をはるかに上回るもので、日本各地で「観測史上最大」という言葉が使われることが珍しくないほどである。

昨年7月28日には山口県と島根県の県境で大雨が降り、山口市や津和野町では、それぞれの県内で観測史上最大となる降水量を記録した。このとき、気象庁から初めて「ただちに命を守る行動を取ってください」という異例の呼びかけが行われたことは記憶している方も多いと思う。さらに追い打ちをかけるように8月23日から島根県西部を襲った大雨により、浜田市、江津市、益田市などを中心に、住宅の全壊、半壊、床上浸水などの被害が相次いだ。

この災害に対し、松江市に本社を置き、島根県に6店舗、鳥取県に3店舗を展開する㈱三栄では、豪雨災害からのいち早い復旧・復興と被災した地域住民の生活回復を願い、浜田市、江津市それぞれに50万円ずつ、計100万円を寄付したほか、浜田市に支援物資としてスポーツドリンク1200本、お茶1200本の計2400本を寄贈した。

また、浜田市が行った災害復旧ボランティアの募集に対し、5名の従業員が応募して参加し、土砂の撤去作業などの活動に従事した。災害からの復旧・復興に必要な資金、物資を提供するほか、従業員自らが身体を動かし、汗を流すボランティア活動に率先して参加したことは、「地域社会を構成する企業市民としてボランティア活動に積極的に参加する」という、三栄が企業の社会的責任の一環として掲げている社会貢献活動の推進という考え方が従業員の意識に根づいている証拠であり、三栄の企業文化の一端を示すものである。

災害復旧ボランティアとして土砂の撤去作業などの活動に参加



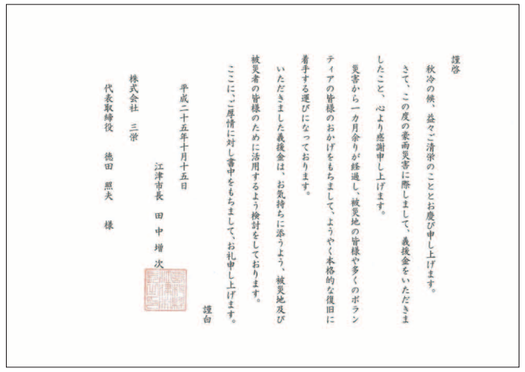
株式会社　三栄
代表取締役　徳田　照夫　様

謹啓　秋冷の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、浜田市行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたびの大雨災害に際しましては、ご丁重なお見舞を賜り厚くお礼申し上げます。
今回の豪雨により、土砂崩れによる家屋倒壊や床上浸水、道路が遮断されるなど市民生活を直撃する被害が発生いたしました。幸いにも人的被害が無く、今現在、復旧に向け作業が行われておりますので、何卒ご休心のほどお願い申し上げます。
一日も早く、市民の皆さんの生活が元に戻るよう、またご厚情に報いますよう、今後ますます精進してまいりますので、引き続きのご指導、ご支援くださいますようお願い申し上げます。
今回の被害に対しましての、ご厚情に改めて感謝申し上げ、本来なら来上し、ご挨拶を申し上げなければいけないところですが、失礼ながら書中をもってお礼申し上げます。
謹白

平成25年10月10日

浜田市長　宇津徹男

浜田市長から感謝状を受領



謹啓
秋冷の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、この度の豪雨災害に際しまして、義援金をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。
災害から一カ月余りが経過し、被災地の皆様や多くのボランティアの皆様のおかげをもちまして、ようやく本格的な復旧に着手する運びになっております。
いただきました義援金は、お気持ちに添うよう、被災地及び被災者の皆様のために活用するよう検討をしております。
ここに、ご厚情に対し書中をもちまして、お礼申し上げます。
謹白

平成二十五年十月十五日
江津市長　田中増次

株式会社　三栄
代表取締役　徳田　照夫　様

江津市長から感謝状を受領

継続的な助成金贈呈や小さな親切運動

三栄では、そのほかにもさまざまな社会貢献活動に取り組んでおり、たとえば、昨年で14回目の継続実施となったのが、「三栄ジャンボグループ社会貢献福祉基金」の助成金贈呈事業である。この基金は、地域社会でのさまざまな福祉活動に熱意を持って積極的に取り組むものの、経済的援助を必要としている諸団体に対して助成金を贈呈するもので、各店舗に設置してある「一握りの愛募金」に寄せられた遊技客からの募金に、三栄からの寄付金を合わせ、各営業店舗がある市町村の福祉団体や自治体に助成するものである。昨年は浜田市、江津市への災害義援金を含め、鳥取こども学園、春日保育園、もみの木福祉会、松江市社会福祉協議会東出雲支所、出雲市の7自治体・団体に、合計197万8000円が助成された。

この福祉基金と同様に三栄が積極的に取り組んでいるのが「小さな親切」運動であり、昨年の50周年記念「小さな親切」運動全国表彰式において、三栄は「小さな親切」運動賞《団体の部》を受賞した。この受賞は、日本列島クリーン大作戦（地域清掃）、あいさつ運動、使用済み切手・プリペイドカード寄贈運動、ペットボトルキャップの回収などの活動が高く評価されてのものであり、今後もよりよい社会の実現に向けて、この運動を継続していくという。

このほかにも、三栄では、社内に設けられた地域貢献委員会が中心となって高齢者クラブや自治会に所属するシニアを招いて行う「シニアパチンコ親睦会」や、日本テレビ「24時間テレビチャリティー募金」などに継続的に取り組んでいる。こうした取り組みが、社会に貢献する企業として、三栄の信頼度を地域の中で高めていくことは間違いない。